

次世代型農業生産構造確立特区 [指定：平成23年12月、認定：平成24年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(5.0+4.7) \div 2 = 4.9$

4.9

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	中心経営体への農地集積	129%	5
2	再生可能エネルギーの利用促進	125%	5
3	経営の多角化等による新たな雇用の確保	142%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 3 + 4 \times 0 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) \div 3 = 5.0$

5.0

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.7

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(3.0+3.8+4.0) \div 3 = 3.6$

3.6

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.8

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.3

- ・十分に優れた取組となっている。国の財政支援により、農業基盤が着実に整備されるなど、各事業とも当初の目標が確実に達成されている。
- ・着実に農地集積や地域資源を活用した6次産業化により、農業経営基盤の強化をはかり、次世代型農業の推進に向けた実績を積み重ねていることが評価される。
- ・農地集約や6次産業化にあわせて、適切な営農体制の確立へ向けた取組が期待される。指標に掲げた農地集約や6次産業化などの農業経営基盤の強化が、最終的な農業所得拡大に確実に結びついていけるか、しっかりと見通しを得て進めてほしい。
- ・再生可能エネルギーに関しては単なる箇所数だけでなく、その取組内容の先進性を評価することや、取組による電力自給率、電力コストの削減等農業経営へのインパクトの定量化などを試みて頂きたい。
- ・6次産業や地域エネルギー会社の設立など新たな財政支援を活用する取り組みの発展も期待したい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.3

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.9 + 3.6 + 4.3 \times 2) / 4 = 4.0$

4.3

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。